

カラープリント加工方法を選ぶ

プリント加工方法	拡大イメージ	特徴	版型の必要性	熱プレス	洗い仕上げ	素材の相性			素材カラー		商品の相性				風合い 通気性	1枚（少数） コストパフォーマンス	30枚時 コストパフォーマンス	100枚時 コストパフォーマンス
						綿	ポリエステル	ナイロン	白生地	カラー生地	カットソー	ブルゾン	キャップ	バッグ				
インクジェット （ガーメント）		製版不要で生地に直接プリントする。プリント面の風合いが柔らかく他のプリント方法では不可能な縫目をまたがったプリントも可能である。熱プレス時の下処理によるテカリが生じる為、ご希望に応じ洗い仕上げを行う。 (注)洗濯堅牢度は強いが摩擦堅牢度は弱い。プレス痕が残る。	無	有	有	○	△	×	○	○	○	×	×	○	○	○	△	△
インクジェット スクリーン		自動回転機とガーメントプリンターが合体して毎時約100枚で生産性の高いフルカラープリント加工ができる。スクリーン製版を要し少数はコスト高だが下処理の洗い仕上げが不要なので数量が多いとコストパフォーマンスにすぐれている。	有	無	無	○	○	△	○	○	○	△	×	○	○	×	○	◎
四色分解 スクリーン		イエロー・マゼンタ・シアン・ブラックの四色分解ドット製版の他、白引きや特色版を用意して1色ずつ刷り込む。直接刷りは目詰りで刷り残しのリスクが高まる為、転写紙にプリントした後に熱プレスして仕上げることがある。 (注)プレス痕が残る。	有	有	無	○	○	△	○	○	○	△	○	○	○	×	×	○
転写 カラーレーザー		転写紙でカラーレーザー出力し1枚でも簡単に熱転写できる。白(淡色)シャツ用はデザイン制限が少なく安価だがカラー(濃色)シャツには白引きされた転写シートを使用するので割高になる。しかもデザイン形状によりトリムカットを要するとさらに高額になるので、割安なワッペン形状がお勧めです。 (注)プレス痕が残る。	無	有	無	○	○	△	○	○	○	△	○	○	△	◎	○	○
レスクジザール （デジタル転写カラー）		離型紙でカラー出力した上にスクリーン印刷で白引きやホットメルトを刷り、熱転写する。少ロットや大きいデザインは高額になる為、小さいデザインで数量が多いご注文がベスト。撥水生地でなければブルゾンにも可能で素材やアイテム制限が少ない。 (注)プレス痕が残る。	有	有	無	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	×	×	○
昇華転写		ポリエステル100%の白生地にのみ可能。昇華転写紙を分散染料で出力し、高温高圧で時間をかけて昇華移染させるので、通気性が最も良く洗濯堅牢度が高いのでスポーツウェアのプリント方法として人気がある。 (注)プレス痕が残る。	無	有	無	×	○	×	○	×	△	△	△	△	◎	○	○	○

※ 熱プレス処理で発生するプレス痕は、洗い仕上げにより目立たなくなることがあります。（洗い仕上げをご希望の場合、別途お見積り致します。）

注）上記は当社比であり、使用機材環境により見解が異なります。あくまでも参考例としてご理解下さい。

注）プリント方法や数量によりプリント価格がそれぞれ異なるが、その他にもプリントの大きさや複雑さやアイテムや商品カラーによっても異なります。詳しくはプリント価格表をご覧ください。